

一般国道1号  
ささはらやまなか  
笹原山中バイパス  
(道路事業)

説明資料

平成26年7月4日

中部地方整備局  
沼津河川国道事務所

# 目 次

ささはら やまなか

1. 一般国道1号笹原山中バイパスの事業概要	
(1) 事業目的	P. 1
(2) 計画概要	P. 2
2. 評価の視点（概要）	
(1) 事業の必要性等に関する視点	P. 3
① 走行環境の改善	P. 3
② 交通事故の削減	P. 3
③ 沿道環境の改善	P. 3
3. 現在の状況及び今後の予定	P. 4
4. 県・政令市への意見聴取結果	P. 4
5. 対応方針（原案）	P. 4



## (2) 計画概要

- 事業名 : 一般国道1号<sup>ささはらやまなか</sup>笹原山中バイパス
- 起終点 : (起点)<sup>しずおか みしま やまなかしんでん</sup>静岡県三島市山中新田  
(終点)<sup>しずおか みしま ささはらしんでん</sup>静岡県三島市笹原新田
- 延長 : 4.3km
- 道路規格 : 第3種第2級
- 設計速度 : 50km/h
- 車線数 : 2車線
- 事業化 : 昭和63年度
- 用地着手年度: 平成3年度
- 工事着手年度: 平成5年度
- 前回の再評価: 平成23年度  
(指摘事項なし: 継続)
- 全体事業費 : 134億円
- B/C : 1.4 (H23再評価時)

### 標準断面図



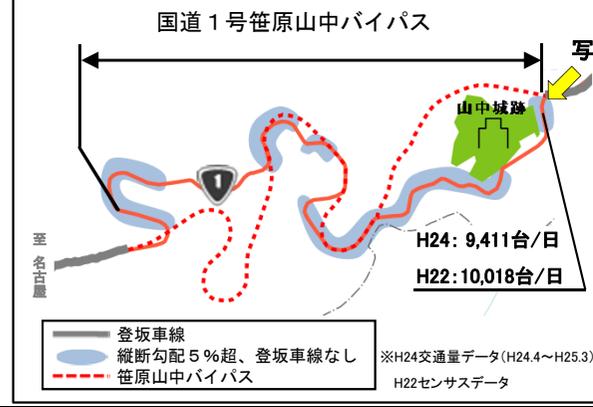
図2 笹原山中バイパス標準断面図

# 2. 評価の視点(概要)【事業の必要性等に関する視点】

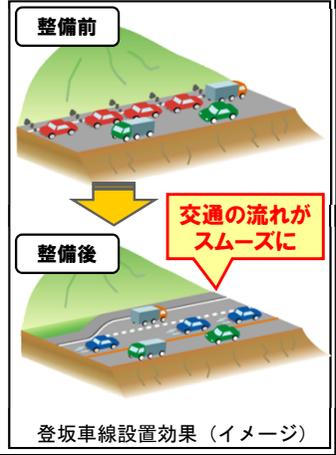
## ① 走行環境の改善

- 1) 事業を巡る社会情勢等の変化
- 国道1号現道は、急勾配が連続し、登坂車線がなく大型車が多いため走行速度が低下し円滑な走行を阻害。
- 2) 事業の投資効果
- 笹原山中バイパスの整備により、登坂車線が設置され、快適で円滑な走行が確保。

### 1) 事業を巡る社会情勢等の変化



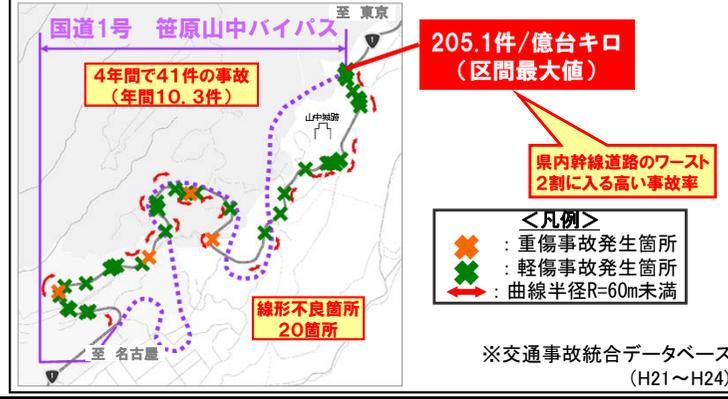
### 2) 事業の投資効果



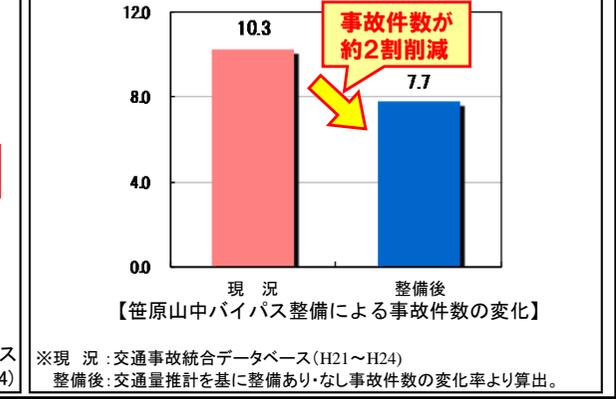
## ② 交通事故の削減

- 1) 事業を巡る社会情勢等の変化
- 国道1号現道は急カーブが多く、曲線半径60m未満の道路線形不良箇所が20箇所も存在。また年間約10.3件(H23評価時:約7.5件)の交通事故が発生。
- 2) 事業の投資効果
- 笹原山中バイパスの整備により、交通事故が約2割減少するものと期待。

### 1) 事業を巡る社会情勢等の変化



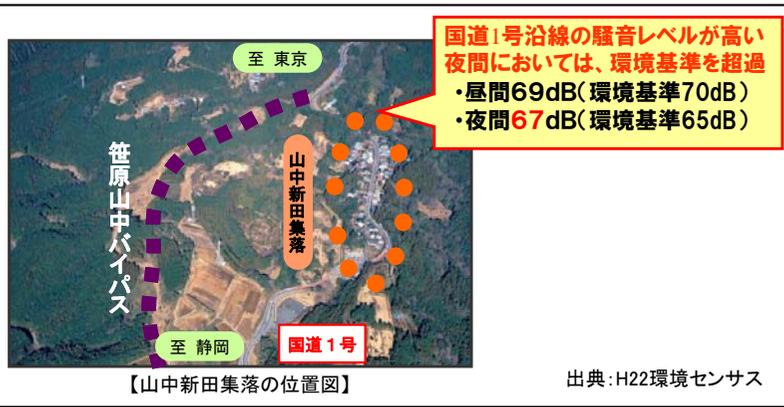
### 2) 事業の投資効果



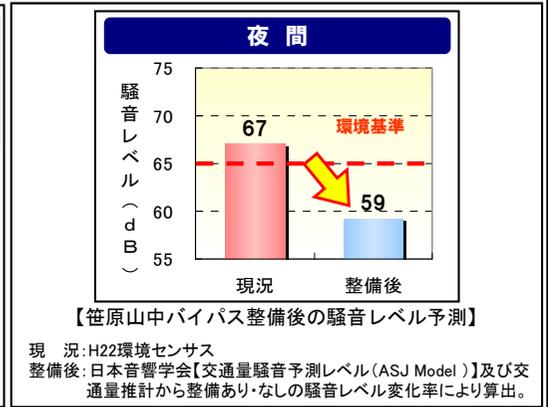
## ③ 沿道環境の改善

- 1) 事業を巡る社会情勢等の変化
- 山中新田の集落では通過交通や大型車による騒音レベルが高く、夜間においては環境基準を超過。
- 2) 事業の投資効果
- 笹原山中バイパスの整備により、通過交通や大型車がバイパスに転換することで、騒音レベルが環境基準内に低減し、沿道環境が改善。

### 1) 事業を巡る社会情勢等の変化



### 2) 事業の投資効果



## 3. 現在の状況及び今後の予定

### 1) 事業の進捗状況

- 事業進捗率は58%、用地取得率は100%に至っています。(平成25年度末)  
(参考) 前回評価時：事業進捗率は36%、用地進捗率は100%(平成22年度末)
- 山中地区(延長1.6km)並びに笹原地区(延長2.7km)について工事等を推進しています。

### 2) 事業の進捗の見込みの視点

- 山中地区(延長1.6km)は、平成27年度の完成2車線開通を予定しています。
- 笹原地区(延長2.7km)は、平成30年度の完成2車線開通を予定しています。

## 4. 県・政令市への意見聴取結果

### ■静岡県の意見

本事業は、県内の東西交通を担う国道1号の三島市山中新田から同市笹原新田までの区間におけるバイパス整備であり、現道における大型車の登坂による速度低下、線形不良による交通事故の多発、夜間において環境基準を超過した集落内の騒音レベル等の地区の課題を解決し、安心・安全で快適な生活環境の確保を図る重要な事業です。

今後も、コスト縮減の徹底とともに、効果が十分に発現されるよう事業の推進をお願いします。

また、各年度の実施に当たっては、引き続き、県と十分な調整をお願いします。

## 5. 対応方針(原案)

- 一般国道1号笹原山中バイパスの事業を継続する。